

ドイツ ハンブルグ国際音楽夏季講習会

要 項



主催：アレグロ・ミュージック・プラン

後援：ピティナ（全日本ピアノ指導者協会）

一般社団法人 東京国際芸術協会

<夏季講習会実施概要>

ハンブルグ国際音楽夏季講習会が 2017 年 8 月に開催されます。この講習会は、ハンブルグで長く続く老舗講習会。教授陣は、ドイツ国立音楽大学教授を中心とする高い専門知識をもった、現役の音楽家として活躍する専門家構成。特別セミナーにおいて、ハンブルグ・サマー・インターナショナル・オルガン演奏会鑑賞、ヨーロッパ各国の演奏会情報、ドイツ留学に関して、ドイツ国立音楽大学入試詳細、現地での生の留学事情の情報を多数提供。ハンブルグ市内にある音楽家縁の地、ヨーロッパ夏の有名音楽祭「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン国際音楽祭鑑賞」等。ドイツ人聴衆の修了演奏会と修了証書授与。豊富な内容の講習会です。

<講習会日程>

2017 年 8 月 8 日 (火) ～13 日 (日)

<開催地>

シュニトケ・アカデミー・インターナショナル (音楽大学) ; <http://schnittke-akademie.de/>

<対象楽器>

ピアノ (ソロ、伴奏法)、声楽 (発声、オペラ、歌曲)、フルート、クラリネット、トランペット、ホルン、オーボエ、ヴァイオリン、ヴィオラその他全種類の楽器。

<講習会内容>

専攻分野の通訳付き個人レッスン 4 回 (各 60 分、基本的に毎回別の講師が担当)。
他に、受講生全員共通の、興味深い各種音楽セミナー；ハンブルグ・インターナショナル・オルガン演奏会鑑賞、ヨーロッパ夏の有名音楽祭「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン国際音楽祭」鑑賞等。ブラームス記念館等音楽家縁の場所、見学。ヨーロッパ留学相談・欧州の音楽事情・インフォメーションセミナーや個別相談もあります。将来のドイツ留学の下見を兼ねての参加にも好適。締めくくりは、ドイツ人聴衆前での受講生全員参加の修了演奏会と修了証書授与。

<講習会紹介サイト>

講習会の模様が、写真入りレポートでご覧になれます。

前編 <http://www.piano.or.jp/report/rd/000.html>

後編 <http://www.piano.or.jp/report/rd/001.html>

<講師陣>

ドイツ国立音楽大学教員及びヨーロッパ一流の演奏家。

<講習会参加費>

227,180 円 (講習会費 209,900 円+事務手数料 17,280 円)

※ピアノソロとピアノ 4 手の連弾以外の専攻者は、上記に加え 22500 円

(料金に含まれるもの；4 回個人レッスンとその通訳料、共通セミナー受講料、7 泊分宿泊代、演奏会出演料、額縁入り修了証書代、講習会期間中のハンブルグ市内バスと電車乗り放題定期券代、ハンブルグ空港到着時の迎車料金 (手配アレンジ代他含む))

<講習会同時企画ロンドン・リサイタル>

講習会受講者への特典として、英国ロンドンにてソロリサイタル (英国国教会 30 分) 出演の機会もあります。ハンブルグ講習会への往路、復路の道中にロンドンへ立ち寄りリサイタル可能。開催日は 2017 年 8 月 4 日と 18 日。現地でのプロのアテンド・通訳世話人付き。詳細は別途お問い合わせ 合わせください。

<修了証・修了演奏会>

修了演奏会は、受講生全員参加。ハンブルグの名ホールにて、ドイツ人聴衆の前で一般公開の形で開催されます。額縁入り修了証書授与。音楽の国・ドイツの本場の空気の中、研修と滞在をお楽しみ下さい。講習会は各自が充実すべく、配慮のあるものを目指しております。

<夏季講習会の概要>

当講習会は、音楽勉強に有意義な各種セミナーを準備、それらはすべて受講料金に含まれます。おのおのの音楽研修を満足のものにしたいだけよう、講師も親切に指導します。事務局、通訳も丁寧にお世話させていただきます。講習全員参加の各種共通のセミナーに加え、日本語通訳付き個人レッスンが合計 4 回 (各 60 分) 付きます。

<講習会共通セミナー日程>

8 月 8 日 朝、講習会初日ガイダンス。

9 日 「ハンブルグ・サマー・オルガンフェスティバル」演奏会鑑賞 (北ドイツの歴史的な大教会にて、世界 3 大名器を聴く)

10 日 ヨーロッパ夏の有名音楽祭「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン国際音楽祭」鑑賞

11 日 共通セミナー講義「ヨーロッパの各国音楽事情や国際音楽祭・オペラ・演奏会情報」及び「ドイツ音楽大学情報、入試内容詳細と留学準備」(個別相談可)

12 日 ハンブルグ市内観光「ハンブルグに縁のある音楽家の地を訪ねて」；ブラームス記念博物館

13 日 受講生修了演奏会 (一般のドイツ人聴衆前で演奏会)。修了証書授与。

(都合により、上記スケジュール実施日程と内容が若干変更起こる場合があります。御了承下さい。)

<旅行条件&講習会スタートまで>

1. ハンブルグでの宿舎は、ホテル（三ツ星ホテルのクイーンズルームのドミトリ形式お部屋）、アパートメントシェア、日本人の御宅にホームステイ形式のいずれかになります。宿舎と部屋は講習会事務局の采配にて振り分けられます。
2. 宿舎のお部屋は相部屋になっております。一部屋に 2-3 名ずつ、或いは三ツ星ホテルのクイーンズルーム 4 名強になります。一人部屋或いは特に他のホテルご希望の場合は、別途追加料金がかかります。
3. 講習会受講料金に含まれる宿泊代は、8 月 7 日夜から 8 月 14 日朝までの宿泊 7 泊分です。延長宿泊ご希望の際は、ご相談に応じます。
4. 共通セミナー内の各行事にかかる費用は、講習会受講料金に含まれます。ただし例外として、「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン国際音楽祭」鑑賞はオプションになります。講習会事務局は無料でチケット手配させていただきます。そのチケット代は実費自己負担、ご注文は講習会参加申込書受理日より 1 週間以内。チケット購入できた時点にて、その代金を日本でお支払、ご清算いただくシステムになっております。
5. レッスン講師の采配は基本的に専攻のすべての講師のレッスンをまんべんなく受講していただく事が原則になっております。各自の希望はあらかじめ伺いますが最終的な采配は講習会事務局になります。
6. 個人レッスンはすべて日本人専門通訳付きです。
7. ピアノソロとピアノ 4 手の連弾以外の専攻者は、受講費に加え 22500 円の追加料金がかかります。（これは受講費と一緒に振込みいただきます。）
8. 日本出発までに宿舎の情報、講習会日程表、ハンブルグ滞在に必要なマニュアル、地図類（宿舎から講習会場までの行き方説明、会場周辺等）をまとめた小冊子をメールで送信致します。それを各受講生が印刷・準備、予習をするシステムになっております。
9. 8 月 8 日講習会初日の朝に開催される「講習会ガイダンス」に必ずご出席ください。そこから講習会がスタートです。
10. ハンブルグ現地の気候、状況、服装、注意事項等は、受講生が日本を出発するまでに、メールで各受講生へ連絡されます。
11. 受講費に含まれる、ハンブルグ空港と宿舎間迎車手配について；8 月 7 日ハンブルグ空港ご到着の方に限り、ハンブルグ空港と宿舎間迎車の手配とお車代の費用が含まれます。この日以外のご到着、或いは、鉄道その他の方法にてハンブルグにご到着される方には、これは適用致しません。
12. 講習会会場の音楽大学のピアノ練習室は、午前 9 時～午後 6 時まで、無料で自由に使い放題。
13. 修了演奏会、修了証書授与の時点をもちまして、講習会の終了となり、現地解散となります。

<ドイツ留学相談セミナー&ヨーロッパ・コンサート音楽情報セミナー>

講習会を受講し、まずは本場ヨーロッパのお勉強に触れ、見聞を広めてください。また当セミナーではドイツ留学に関する現地の生の情報を多数提供、具体的に詳しいお話を致します。；どのような音楽大学があるのか、各音大の入試の詳細とレベル、先生とのコンタクト方法、レッスンの受け方、入試準備曲詳細、留学生活の手引き等。

「ヨーロッパの音楽に関するセミナー」では、本場のヨーロッパでの表現について等、演奏の理解の為のお話、ヨーロッパ東西南北の国々を紹介、主な音楽祭、オペラ、コンサート訪問の仕方等。

音楽を中心にしたヨーロッパのお話を、写真をご覧になりながら、お聴きいただきます。

個人別相談セミナーもあり。当講習会受講者は、過去に多数、激戦のドイツ国立音楽大学入試に合格、本格的な留学をされております。国立、私立音楽大学及び個人のすばらしい先生達の現地の情報も提供致します。

<服装について>

共通セミナー及び個人レッスン受講の際は、カジュアル或いは動きやすい服装が好ましい。ジーンズも全く OK。8 月のハンブルグは、基本的に日本の夏山の高原のような気候です。コンサート鑑賞訪問の際の服装は、北ドイツ人達はかなりカジュアルで、ジーンズの方もおられます。他必要なもの；折りたたみ傘（ハンブルグは雨が多い）、上着（ジャケット、ジャンパー等。）、靴下類（空気が乾燥し、足元が冷える）、靴は日常履きなれたスポーツシューズ、スニーカー等が好ましい。ヨーロッパの石畳の道には、高ヒールや華奢な靴は、お勧めできません。修了演奏会では、皆様華やかなロングドレスを着用されます。

<受講希望者からの質問と回答例、諸事項>

1. 個人レッスンは、全日程で何回あるのでしょうか？
個人レッスンは、全日程で、レッスンが 4 回（各 60 分）あります。その他、音楽家に縁の場所をめぐる研修（ブラムス博物館）、留学相談等、その他多彩な共通セミナーがあります。
2. レッスン受講曲目の指定はあるのですか？
ありません。好きな曲で受講できます。
3. 講習会の費用の中に含まれないものは、航空費・食事代以外にありますか？
基本的にありません。現地へ来てから生じる出費がない料金設定にしております。
ただし、以下が例外で、受講費に含まれません。
1) ピアノソロと 4 手のピアノで参加受講生以外の受講生は、22500 円の追加料金がかかります。（受講費と一緒に振込みになります。）
2) 「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン国際音楽祭」鑑賞はオプションになります。講習会事務局は無料でチケット手配させていただきます。そのチケット代は実費自己負担になります。
4. 外国語が全くできないのですが、レッスンを受ける事はできますか？
レッスンはすべて日本語通訳付き、外国語が全くできなくても大丈夫です。大変上手な専門通訳の方がレッスン中ずっと付き、先生に対する質問も通訳を通してすぐにできます。その通訳代も講習受講料に含まれていません。

<講習会場の周辺>

Altona 駅という、ハンブルグで二番目に大きな駅が最寄駅になります。駅からから徒歩5分に会場があります。駅前は大きなデパートや店舗、レストラン、カフェ等が多数あります。駅の構内にもスーパー2店あり、店が多く、買い物が大変便利です。アルトナ駅周辺は、「ハンブルグのモンマルトル」と言われ、おしゃれで活気があり、アーティスト達が住みたい地区No1になっています。

<その他注意事項>

ドイツは電圧が230V(日本は100V)で、日本仕様の電化製品は使用不可です。また、自分の常備薬と化粧品、使い慣れたシャンプー等石鹸類、タオル類はご持参下さい。

ドイツの医療費は大変高額です。海外旅行傷病保険に加入されることをお勧めします。日本の各海外旅行代理店にて、取り扱いされています。

<申込方法・締切日>

2017年6月22日(木) ※但しそれ以前でも、定員になり次第、締切られます。
要項挟み込みの申込書に必要事項を記入の上、事務局までお送りください。

<航空券、キャンセル等注意事項>

以下をご了承の上、受講お申込みということになります。

講習会参加キャンセルにつきましては、受講料金の全額返金はできません。お申し込み後キャンセルの際は、キャンセル基本料として、まず事務手続き代金17280円をお支払い頂きます。加えて、講習会開始日より数えて1か月前までに起こったキャンセルは、受講費の60パーセント、3週間前まで70パーセント、2週間前まで80パーセント、1週間前まで90パーセント、1週間前から当日までは全額お支払いいただきます。

台風等自然災害による飛行機や交通機関の遅滞、或いは個人の事情でレッスンその他講習会受講不可能となっても、受講料の返金はいたしかねます。

講習会会場以外での事故等につきましては、個人責任となります。

航空券に関しては、予約と購入が早ければ早いほど安くなります。日々高騰して行き、出発直前購入は大変な高額になります。格安航空券も出ておりますので、インターネット等で早めにご購入下さい。独りで飛行機に乗るのが不安な方には、他の受講生と飛行機の同便をご案内しております。成田、羽田、関空、名古屋等の空港より、他の受講生と一緒にハンブルグまでお越しいただけます。航空券ご購入前にその旨ご相談下さい。海外旅行初めての方につきましては、協会にて手配を受け賜っております。

※航空券手配に関しては東京国際芸術協会より下記の旅行会社に委託します。

渡航委託旅行代理店 株式会社東京国際ツアーズ
国土交通大臣登録旅行業第1353号 (社) 日本旅行業協会正会員
〒116-0002 東京都荒川区荒川3-74-6-301
TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556 master@ti-tours.com

※渡航手続き関連で必要な個人情報をご提供を株式会社東京国際ツアーズと共有いたします。手続き関連の確認で株式会社東京国際ツアーズより直接ご連絡を差し上げる場合もございますので予めご了承ください。

※航空券につきましては早期割引運賃航空券を利用するため、原則予約変更不可です。予約の変更や取り消しの場合は航空会社所定の手数料及び弊社手数料を頂戴します。

<お問合せ・お申込先>

一般社団法人東京国際芸術協会 <http://www.tiaa-jp.com> E-mail: info@tiaa-jp.com
〒116-0002 東京都荒川区荒川3-74-6-301 TEL:03-6806-7108 FAX:03-3806-8555

<講習会講師陣のプロフィール>

【ピアノ・ソロ&ピアノ伴奏法】

Prof. Dr. Gabriel Cervone (ガブリエル・チェルヴォーネ)

ドイツの名門、ハンブルグ国立音楽大学ピアノ教授。ヨーロッパ諸国での数々の演奏会開催。演奏の傍ら、音楽学者(Dr)としての研究多数(主なものに、シューベルト初期ソナタの研究)。ソニー、ドイツ・グラムフォン、デッカ等大レコード会社専属クラシック音楽部門アカデミー研究顧問、各会社の音楽関係執筆多数。自身の深い知識に支えられた丁寧な指導力には、定評がある。

Prof. Andreas Stier (アンドレアス・スティアー)

ドイツの名門、ハンブルグ国立音楽大学ピアノ教授。幼少時代に韓国で育ち、ソウル芸術院卒業。ハンブルグ大学にて中国学を修め、その後、ハンブルグ国立音楽大学ピアノ科卒業。31歳で母校の教授就任以来、長年教鞭をとっている。ピアニストとして、ソロ、室内楽共に世界中、特にアジアで多数の演奏活動をしてきた。長い豊かな文化経験による音楽教育は、名教師として特筆されるものがある。

Prof. Brigitte Ahringsmann (ブリギッテ・アーリングスマン)

ハンブルグ生まれのドイツ人名ピアニスト、名ピアノ教師。ハンブルグ国立音楽大学及び大学院卒業。パリ、エコール・ノルマルにてアルフレッド・コルトーに学び、ルーザンヌ管弦楽団と協奏曲演奏を皮切りに、国際的な演奏家としてのキャリアを築く。今世紀のドイツピアノ巨匠Prof. ハンゼンの助手を経て、ハンブルグ国立音楽大学教授を30年以上勤める。数々の名ピアニストを育成、輩出。

Elke Gravert (エルケ・グラヴェルト)

ドイツ人ピアニスト。多々のコンクールで入賞。ハンブルグ国立音楽大学とリュベック国立音楽大学で学ぶ。在学時に、ドイツ国費留学DAAD奨学金を授与され、ロンドンの名門ギルドホール音楽大学留学。数々の巨匠(ハリーナ・チェルニー・ステファンスカ、デートレフ・クラウス、ハンゼン等)の元で研鑽を積む。在学時に、リュベック国立音楽大学ピアノ講師に抜擢され、同大学にて33年間教授活動。ドイツのピアノ教育に生涯を捧げる名教師。

Elena Sukmanova (エレナ・スクマノヴァ)

ロシア生まれ。サンクト・ペテルブルグの青少年音楽学校卒業後、サンクト・ペテルブルグ国立音楽院にて、ピアノ・ソロ、室内楽、伴奏を学び首席卒業。同校大学院ピアノ科終了。在学中より、ロシア各地で演奏活動。サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニーのソリストに迎えらる。ロシア国内やドイツ・ブライムス国際音楽コンクール入賞。全ドイツ音楽コンクール等の公式ピアニスト。BrahmsKonservatorium 講師。

【声楽（発声法、リート、オペラ）】

Anthony Roden (アントニー・ローダン)

オーストラリア出身の世界的な名テノール。London の英国ロイヤルオペラの花形であり、ほぼ世界中の大歌劇場に客演している。世界の大指揮者とのオーケストラ共演、BBC 録音など多数。教育者としては英国王立ノーザン音楽大学 Prof 歴任。各種国際声楽コンクール審査員、世界中のプロの歌手達のボイストレーナーとして著名。ロンドンのベスト声楽教師の 1 人。HP; <http://anthonyroden.com/>

Prof. Renate Behle (レナーテ・ベーレ)

元ハンブルグ国立音楽大学声楽学科主任教授。ドラマティック・ソプラノ。ミラノ・スカラ座等世界中の主要大歌劇場及び、ザルツブルグ音楽祭など主要音楽祭の常連出演プリマ・ドンナ。その卓越した歌唱は、オペラならず、歌曲でも実力を発揮。名歌手を育て、各歌劇場へ送りだしている。若い歌手達を暖かく援助、熱心な教育者でもある。HP; <http://www.renatebehle.de/index.html>

Mark Bruce (マーク・ブルース)

USA アメリカの東大と言われるイエール大学ドイツ哲学科卒、ニューヨーク出身。ハンブルグ・コンセルヴァトリウム声楽学部長、ハンブルグ国立オペラバス歌手実際の舞台を踏む日常の経験より、様々なアドバイスを、深い教養に裏打ちされた多彩な音楽的知識、わかりやすい指導法に定評がある。ハンブルグ国立オペラハウスでの個人レッスン、貴重な体験を持つことができる。

Matthias Minnich (マティアス・ミニヒ)

ドイツ国立ハノーバー音楽大学講師。ドイツ人バリトン歌手。最初音楽学を修めた後、ドイツ国立でトモルト音楽大学で声楽を学び、卒業と同時にデトモルト国立オペラ劇場にてデビュー。オペラのみならず、その知的な歌唱には、リート、古典音楽の演奏にもすぐれた能力を発揮、世界的なイタリア・フェニーチェ劇場等欧州各地のオペラ劇場に出演。

Drothea Stamova (ドロテア・スタモヴァ)

元リューベック国立歌劇場専属コントラアルト歌手。ブルガリアに生まれる。当地で国立音楽院卒業後、オペラ歌手としてオペラ劇場で活躍、同時に宗教曲のスペシャリストとして、数々の大教会でソリストを務める。その後ドイツへ移住、各地の歌劇場演奏、歌曲や宗教音楽の演奏会も多々出演。後進の養成に尽力し、数々の生徒をコンクール入賞させ、教師としても力を発揮する。

Yukako Margaritoff (マルガリトフ由加子)

メゾソプラノ。大阪教育大学大学院及びイタリア国立ボローニャ音楽大学大学院声楽学科修了、イタリア国家歌手証授与。ソフィア国立歌劇場、ラジオ、テレビ多数出演。「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン国際音楽祭」(ドイツ)をはじめとする多数の演奏会、ヨーロッパと北米各地にて実力派インターナショナル歌手として活躍。近年ロンドンにて、今世紀の巨匠 Dr. Stepehn Preston とのデュオ演奏会の成功により、世界的賞を授与される。ハンブルグ音楽大学(コンセルヴァトリウム)客員講師歴任。

【フルート】

Prof. Jurgen Franz (ユルゲン・フランツ)

現在ハンブルグ国立音楽大学主任教授、北ドイツ放送交響楽団首席奏者。ジェームス・ゴールウエイの高弟子。現在北ドイツ交響楽団首席フルート奏者。ソリストとしては、スカラ座管弦楽団&リッカルド・ムーティ、ロストロポーヴィチ、ベルリンフィル&クラウディオ・アバド、マリス・ヤンソン、ハイティンク、サイモン・ラトル、バレンボエム、ズービンメータ等最高峰の指揮者と共演。ヨーロッパのフルート界スターとして、マスタークラス、ソロ、室内楽、レクチャー等情熱をそそぐ。熱心で優秀な教師でもある。HP ; <http://www.juergenfranz.com/>

Susanne Barner (スザンネ・バーナー)

ドイツ人。フルート界の巨匠、オーレル・ニコレの愛弟子。フランクフルト放送交響楽団を経て、現在ハンブルグの名門オーケストラ、ハンブルグ・シンフォニカ交響楽団首席奏者。ハンブルグ・コンセルヴァトリウム音楽大学フルート講師歴任。オーケストラ活動の他に室内楽や自身のソロ活動も活発に行っている。数々のヨーロッパ(ドイツ中心)の名指揮者との共演は多数。CD録音やラジオ録音(NDR北ドイツ放送交響楽団、Hessenヘッセン放送、WDRライン放送)にも活躍。

MARC SOBOLEWSKI (マーク・ソボレフスキー)

ドイツ人。ドイツ国立ハンブルグ音楽大学卒業。オーケストラフルートソロとフルート教育両方のディプロマ取得。その後、ゲラ(Jean-Claude Gérard)等巨匠の元で研鑽を積む。後進の育成にも大変力を注ぎ、その暖かく広い視野にたった指導法には定評があり。多数のすばらしいフルート奏者を育ててきた。現在ブライムス音楽大学(コンセルバトリウム)フルート科主任。

【トランペット】

Prof. Eckhard Schmidt (エックハルト・シュミット)

元ベルリンフィルメンバー、現在ハンブルグ国立音楽大学教授、及びハンブルグ国立歌劇場オーケストラメンバー。シュトゥットガルト出身。ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学卒業。自身は、ヨーロッパ各地のオーケストラに迎えられ、世界的著名な指揮者と多数の共演を重ねてきた。長年にわたり、世界的に有名なシュトゥットガルトバッハアカデミーで指導。豊かな経験で名演奏家を育ててきた。

Andrzej Balsam (アンジェイ・バルサム)

ポーランド人。ブライムス音楽大学(コンセルヴァトリウム)トランペット学科主任。ヨーロッパ有数のトランペット教育者 Professor Stefan Hadry の高弟子として、深く研鑽を積む。これが、後年、彼を優れたトランペット

教育者にする元となった。ポーランド国立放送交響楽団を経て、ドイツへ活動の本拠を移す。北ドイツ中心に種々の演奏活動。トランペット演奏の本質、「自分の言葉で演奏するのはどうするのか (Prof. Hadry の教育根本=ヨーロッパの音楽の原点)」に着眼点を置いて指導している。多数の名トランペット奏者を輩出している。

【クラリネット】

Prof. Guido Mueller (グイド・ミュラー)

ハンブルグ国立音楽大学クラリネット学科教授、ハンブルグ青少年の為の国立音楽学校クラリネット及室内楽学科講師。若い奏者からプロ者まで、幅広くフレキシブルな教授で教育者として高名。暖かく行き届いた生徒との交流、特に後進の指導に力を入れている。

Vitaliy Zolotonosov (ヴィタリー・ツォロトノソフ)

ブラームス音楽大学 (コンセルヴァトリウム) クラリネット学科主任。ロシア人。ドニエツク国立音楽院首席卒業。西ヨーロッパに出て、フィルハーモニー交響楽団の首席クラリネット奏者を14年間勤める。オーケストラの他に1991年より、著名なブラスアンサンブル „Ot-Azoy“ 結成して、ヨーロッパ各地で活動。暖かい、熱心な指導は、多数のすばらしいクラリネット奏者を育ててきた。

【ホルン】

Prof. Ab Koster (アブ・コスター)

オランダ生まれの世界一と言われるホルンの巨匠。現在、ドイツ国立ハンブルグ音楽大学ホルン主任教授。及びオランダ王立ハーグ音楽大学教授。自身は著名な演奏家、かつ、教授としても優秀、多数の名奏者を育ててきた。1977年より13年間ドイツの著名オーケストラ北ドイツ放送交響楽団で首席奏者を務める。ソロ奏者、室内楽奏者として、国際的に多くの招聘があり高い評価を受けている。

Ivan Yefimov (イヴァン・エフィモフ)

オデッサ国立音楽大学卒業。名門キエフ国立交響楽団を経て、ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学大学院修了。チューリン交響楽団とホーフ交響楽正式契約首席ホルン奏者、その他多数のドイツのオーケストラで演奏。ヨーロッパ国内での、マスターコース開催。ハンブルグ・ブラームス音楽大学 (コンセルヴァトリウム) ホルン学科主任として教授活動。現在リュネブルク交響楽団首席ソロ・ホルン奏者。

【オーボエ】

Thomas Rohde (トーマス・ローデ)

ドイツ人名オーボエ奏者、教師。20歳にしてドイツ・マンハイム国立劇場にて首席オーボエ奏者を務め、1988年より現在に至りハンブルク州立歌劇場管弦楽団首席オーボエ奏者。小沢征爾指揮の斉藤記念オーケストラでも演奏。バイエルン国立劇場、ベルリンオペラ、ドイツオペラ、ミュンヘンシンフォニカ、その他放送局などにて、世界的に有名な指揮者、ズービン・メーター、ロリン・マゼール、ジェームズ・レヴァイン、エッシェンバッハラと共演。世界中でマスターコースを行い、後進の指導にも力を入れている

【バイオリン】

Stephan Wagner (ステファン・ワグナー)

1962年アウグスブルク生まれ。ミュンヘン国立音楽大学を卒業後、アメリカ・ヒューストンとアムステルダムで研鑽を積む。名コンクールにて多数入賞。シュトゥットガルト交響楽団のコンサートマスターを経て、現在は、北ドイツ放送交響楽団第一バイオリンコンサートマスターとして、ドイツ最高峰のオーケストラの一つで活躍。世界中にて、バイオリンソリストとして、協奏曲、演奏会、マスタークラス等招聘される。

【ヴィオラ】

Prof. Jaab Zeijl (ヤープ・ツアイール)

ドイツ国立フライブルグ音楽大学卒業。ハンブルグフィルハーモニーヴィオラ奏者を経て、ドイツ第二の名オーケストラ北ドイツ放送交響楽団 (NDR) ヴィオラ首席奏者を長年勤める。ドイツ国立ハノーヴァー音楽大学とハンブルグ音楽大学のヴィオラ教授歴任。現在世界中で教授活動をするヴィオラ教師。豊かな経験を元に、大きな視野にたった指導には、定評があり、優秀なヴィオラ奏者を輩出している。

Anator Yalosh (アナートル・ヤーロッシュ)

キエフのロシア国立リゼンコ音楽大学ヴィオラ学科卒業。ポーランドの主要オーケストラ勤務後、ロシアの名門キエフオペラ劇場オーケストラ勤務を経て、ドイツに移住、2001年よりハンブルグのクラシックフィルハーモニーのヴィオラ首席奏者。現在ハンブルグ・ブラームス音楽大学 (コンセルヴァトリウム) ホルン学科主任として教授活動。忍耐と暖かな指導は多数のよいヴィオラ奏者を生み出している。

※各学科、上記以外にも他に講師がおります。

また稀に先生の御都合で講師の変更やレッスンの時間配分が変更になる可能性がありますので、ご了承下さい。

ドイツ・ハンブルグ国際音楽夏季講習会 参加申込書

※必ず要項の内容をよく確認した上でご記入ください。申込用紙に不備・記入漏れがある場合、申込手続きができない場合がございます。

ふりがな					写真 (4.0cm × 3.5cm)
氏名	姓	名			
ローマ字	(LAST NAME)	(FRIST NAME)			
パスポート記載名 (ローマ字)	(LAST NAME)	(FRIST NAME)			
生年月日	年 月 日	年齢	歳	性別	
ふりがな	※18歳以下の方は保護者の同意をお願いします				
保護者氏名	①		専攻楽器		
住所 (書類送付用)	〒		都 道 区・市	府 県 郡	
住所 (本籍)	※パスポートの記載通りお願いします。(丁目、番地等そのまま書いてください)				
電話番号	()	携帯電話	()		
FAX	()	e-mail			
パスポート番号			国籍		
緊急連絡先	〒		TEL		
レッスン曲目①	邦題<作曲者名>		<邦題>	<演奏時間>	
	原語<作曲者名>		<作曲者の年代>	<原題>	
	※欄外参照				
レッスン曲目②	邦題<作曲者名>		<邦題>	<演奏時間>	
	原語<作曲者名>		<作曲者の年代>	<原題>	
	※欄外参照				
レッスン曲目③	邦題<作曲者名>		<邦題>	<演奏時間>	
	原語<作曲者名>		<作曲者の年代>	<原題>	
	※欄外参照				
レッスン曲目④	邦題<作曲者名>		<邦題>	<演奏時間>	
	原語<作曲者名>		<作曲者の年代>	<原題>	
	※欄外参照				
学歴・賞歴	<日本語>				
	<英語>				
現在までに師事した先生	<漢字>				
	<ローマ字>				
航空券手配	<input type="checkbox"/> 航空券自己手配を希望します 自己手配希望の理由: <input type="checkbox"/> 航空券アレンジを希望します(関空発等) アレンジの詳細:				
※希望者のみご記入ください					
署名	上記の内容で申込をします		署名	日付	印

※レッスン曲の原語は作曲者(フルネーム)、作曲者の年代、曲名の順番で記入してください

例) Ludwig van Beethoven (1770-1827) aus Klaviersonate Nr.30 op109

1.Vivace ma non Troppo

2.Prestissimo

3.Gesangsvoll, mit inniger Empfehlung ,Andante cantabile ed espressivo